

【資料 1 - 1 - ①】

上下水道部営業課

令和3年度水道事業会計決算の概要

1 前年度比

(1) 収益的収支（日々の営業活動に必要な経費）

主な収入は水道料金であり、主な支出は受水費、減価償却費、人件費、修繕費です。

区分	決算額（税抜）		対前年度比
	令和3年度	令和2年度	
収入	12億2,136万円	12億3,443万円	△1.1%
支出	10億6,241万円	10億6,079万円	0.2%
純利益	1億5,895万円	1億7,364万円	

(2) 資本的収支（施設の改良等に必要な経費）

主な収入は企業債、工事負担金であり、主な支出は建設改良工事費、企業債償還金です。

区分	決算額（税抜）		対前年度比
	令和3年度	令和2年度	
収入	4億1,433万円	2億1,356万円	94.0%
支出	7億1,339万円	3億8,869万円	83.5%
差引	△2億9,906万円	△1億7,513万円	

※「(2) 資本的収支」の不足額2億9,906万円は、建設改良積立金等を財源として補填されます。

2 主要事業

<水道管路耐震化事業>

- 基幹管路更新工事 1億6,463万円
- 配水管更新工事 9,549万円

<物集女西浄水場耐震化事業>

- 物集女西浄水場高圧受配電設備更新工事 1億9,030万円

3. 経営戦略における取組の進捗状況

基本方針 1 水道施設の強化

＜基幹管路耐震適合率の向上＞

○目標：令和 9 年度までに 50%以上 へ向上させる実績：令和 3 年度末で 28.3%（前年度より 1.3% 向上）

基幹管路耐震適合率 (%)			
年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
向日市実績	27.0%	27.0%	28.3%
指標の説明	耐震適合性のある基幹管路の割合を表しています		
動向	平成 27 年度から積極的な耐震化に取り組んでいますが、令和 2 年度における京都府内の平均値 39.6%、全国平均 40.7% をいずれも大きく下回っている状況です。		

＜物集女西浄水場の耐震化＞

○目標：令和元年度までに完了

実績：平成 29 年度 急速ろ過池、酸化池の耐震化を完了

令和元年度 高架水槽の耐震化を完了

令和元年度に物集女西浄水場の耐震化を完了しました。

基本方針 2 世代間の公平性の確保

○目標：令和 9 年度の一人あたり企業債残高 5 万円以下

実績：令和 3 年度 4万9,633円（前年度より 2,635円増）

参考：企業債残高 令和 3 年度 28 億 1,794 万円

企業債残高対給水収益比率 (%)			
年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
向日市実績	248.77%	261.72%	294.70%
指標の説明	給水収益に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標です。		
動向	令和 3 年度も新規の企業債を発行しましたが、前年度と比較して発行額が増加したため、比率が高くなっている状況です。		

基本方針3 財源の確保

○目標：経常収支比率の維持

実績：令和3年度 115.3%（前年度より1.2%減）

経常収支比率（%）			
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
向日市実績	118.8%	116.5%	115.3%
指標の説明	料金収入等の収益で、受水費や支払利息等の費用をどの程度まかなえているかを表す指標であり、100%以上となっていることが必要な指標です。		
動向	経営の状況は概ね良好であり、ここ数年はほぼ同様の比率を維持しています。今後も現在の水準を維持していく必要があります。		

○目標：流動比率の200%以上の維持

実績：令和3年度 329.9%（前年度より7.3%増）

流動比率（%）			
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
向日市実績	272.5%	322.6%	329.9%
指標の説明	1年以内に支払うべき債務に対して、支払うことができる現金等がどれだけあるかを示す指標であり、概ね200%以上を目標としています。		
動向	前年度と比較して、企業債が増加しているため比率は高くなっています。今後も概ね200%を下回ることがないよう現在の水準を維持していく必要があります。		